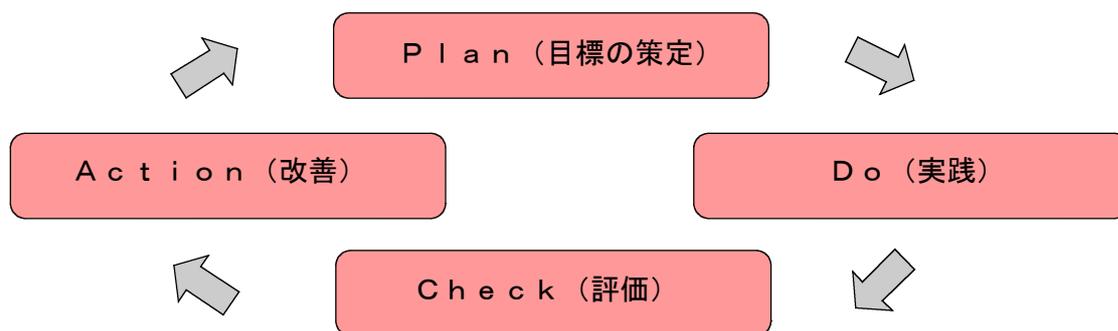


## 不登校未然防止に向けた計画と継続的な検証改善サイクルの確立について

学校は、社会性の育成や生涯を通して学び続けるための学力を育てる学習支援の場として、重要な役割があります。不登校に結びつく、学校生活に起因する問題の解消に向け、教職員一人一人の最大限の努力が必要です。「不登校はどの子にもどの学校にも起こりうる」との認識に立ち、不登校児童生徒の未然防止に向けて、すべての学校において適切に対応するとともに、より効果的な取組となるよう、不断に評価・検証することが求められています。

各校におきましては、実情に応じて、不登校未然防止に向けた年間計画や重点目標を策定するとともに、下記のPDCAサイクル(例)を参考にしつつ、効果的な取組をお願いします。



### 各学校におけるPDCAサイクル(例)

#### P：不登校未然防止計画の策定【4月】

- ①課題解決に向けた年間計画と重点目標の決定  
具体的な取組の策定  
全教職員による共通理解と校内体制の整備

#### D：不登校未然防止計画に基づく取組の推進【4月～2月】

- ①計画の円滑な実施  
管理職による進捗状況の把握  
職員間での積極的な情報共有
- ②不登校児童生徒の状況把握  
7月末、12月末、年度末における数の把握  
長期休業を活用した個別支援
- ③日常の取組  
「不登校の解決に向けて-観察ポイントとチェックリスト-」による適切な指導  
あいまいな理由で3日欠席した場合、ケース会議の開催
- ④小中学校の円滑な接続  
中学校入学段階での丁寧な引継ぎとフォローアップ  
中学校から小学校への積極的な広報（オープンスクール等）の実施

#### C：課題解決に向けた年間計画の検証・評価【2月】

- ①計画の達成に向けた取組状況の確認  
取組による成果の評価  
課題の洗い出しと整理

#### A：不登校未然防止計画の見直しと充実改善【3月】

- ①次年度重点目標と改善策の検討

